資料10

オープンハウスの実施結果

1.開催概要

(1)開催目的

立地適正化計画の策定に当たり、計画の概要や市の現況、計画策定の目的について市民に周知するとともに、計画に対するご意見を伺い、今後の計画検討の参考とすることを目的とする。

(2)開催場所

以下の市内商業施設(4箇所)で開催した。

イトーヨーカドー久喜店、モラージュ菖蒲、イオンスタイル南栗橋、アリオ鷲宮

(3)開催日程

令和8年6月20日(土) 10時～15時

モラージュ菖蒲、イオンスタイル南栗橋

令和8年6月21日(日) 10時～15時

イトーヨーカドー久喜店、アリオ鷲宮

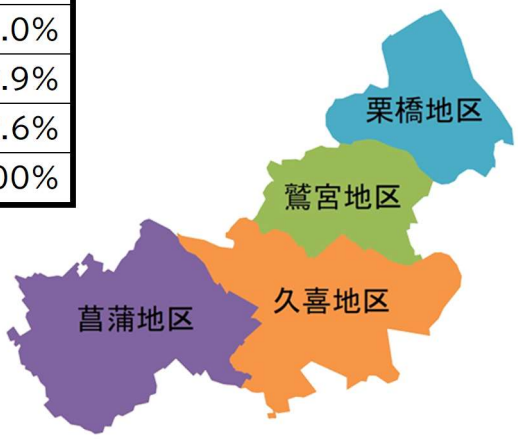
(4)開催方法

立地適正化計画の概要、市の現況、今後のまちづくりの方針などを説明するパネルの展示や、パネルにシールを貼って回答いただく形式の簡易アンケートを行った。

(5)参加者・回答件数

	参加者数	回答件数	割合
イトーヨーカドー久喜店	106人	94 件	25.5%
モラージュ菖蒲	120人	114 件	31.0%
イオンスタイル南栗橋	62人	40 件	10.9%
アリオ鷲宮	134人	120 件	32.6%
全体	422人	368 件	100%

＜久喜市の地区別＞



（6）パネルの内容

パネル1（現況①）

久喜市立地適正化計画を策定します！



久喜市の都市の現状や今後のまちづくりのあり方に関するパネル展示を実施しています。
ぜひご覧いただき、みなさまのご意見をお聞かせください！

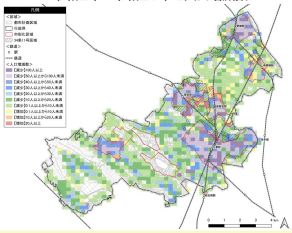
久喜市マスコットキャラクター　来久（like）ちゃん

■ 久喜市の現況と課題

人口の増減数

◆今後の人口については、市全域で減少が見込まれており、特に市街化区域内では人口減少が進行することが見込まれています。

≪令和2年～令和27年の人口増減数≫



このままだと…

人口減少により、空き家の増加や地域コミュニティの衰退による生活環境の悪化などが懸念されます



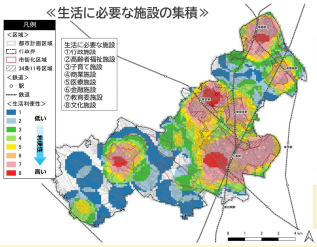
そうした事態を避けるためには…

まちなかへの居住を促し、人口密度の確保を図っていくことが必要です

都市機能施設（生活に必要な施設）

◆鉄道駅周辺や菖蒲パスターミナル周辺に都市機能施設が集積しており、行政施設や商業施設、金融施設など様々な施設を利用できるようになっています。

≪生活に必要な施設の集積≫



人口が減少すると…

地域活力の低下や担い手不足、施設利用者の減少などが懸念されます



そうした事態を避けるためには…

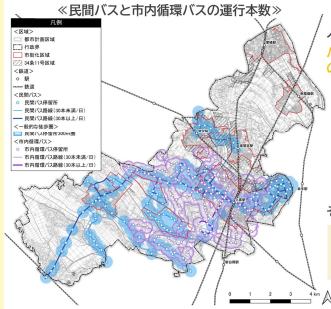
生活に必要な施設を選択し拠点へ誘導することが必要です

パネル2（現況②）

公共交通

◆市内には鉄道、民間バス、市内循環バスが運行しており、久喜地区及び鷲宮地区は比較的利用しやすい一方で、栗橋地区及び菖蒲地区では利用しづらい地域があります。

≪民間バスと市内循環バスの運行本数≫



人口が減少すると…

バス路線の廃止や減便等の公共交通の利便性低下が考えられます



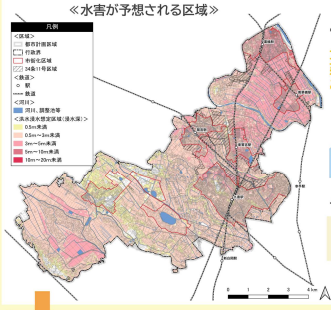
そうした事態を避けるためには…

利用しやすい公共交通を構築し、利便性を維持・向上させることが必要です

災害

◆市内のほとんどのエリアに浸水想定区域による水害のリスクが存在します。
◆栗橋駅周辺では、範囲は限定的であるものの、浸水深5～10m未満の区域がみられます。

≪水害が予想される区域≫



このままだと…

大雨などにより、水害が発生し、建物や道路が浸水するおそれがあります



そうした事態を避けるためには…

水害リスクを前提とした防災性の高い居住地の形成が必要です

様々な課題に対処し、持続可能なまちを実現するために

立地適正化計画を策定します！



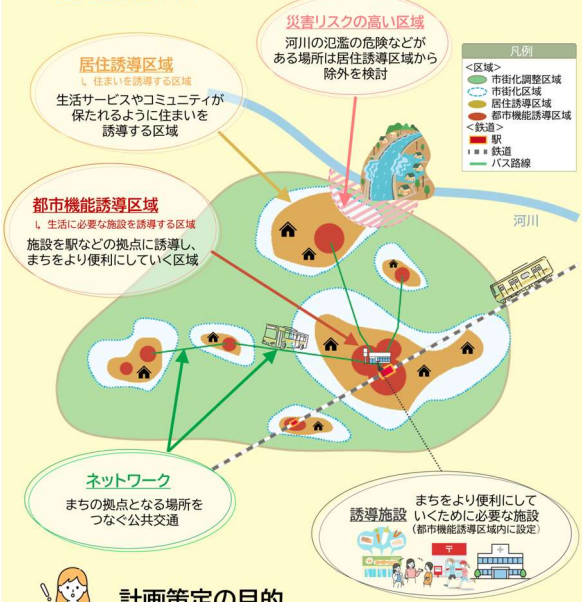
パネル3（計画概要）



立地適正化計画とは？

生活に必要な施設を誘導する区域、居住を誘導する区域などを定めることによって、将来の人口減少や高齢化を見据えた持続可能なまちづくりを行っていく計画です。

■ 主に定める事項





計画策定の目的

既に一定の良好な市街地が形成されている中で、更なる人口密度の確保や激甚化・頻発化する自然災害への対応が求められています。住宅や施設をまちの中心に集め、鉄道やバスなどでネットワーク化することで、安全で快適に暮らせるまちを目指します。

パネル4（方針）

■ 目指すべき方針（案）

「都市機能の誘導」、「居住の誘導」、「公共交通の充実」、「防災」の4つの視点で立地適正化計画における「まちづくりの方針（案）」を設定して、将来にわたり持続可能な都市の形成を目指していくものとします。



≪ まちづくりの方針（案） ≫

都市機能の誘導

多様な都市機能の維持・充実と低未利用地の活用による魅力ある拠点の形成

◆久喜市を代表する中心的な拠点では、公共施設の再配置や官民連携等による複合施設などの高次都市機能、テレワークに対応した業務機能など、多様な機能の維持・充実を図ることにより、都市の魅力を高めます。
◆地域の核となる拠点では、商業・医療など日常生活を支える都市機能の維持・充実を図るとともに、まちづくりプロジェクトの推進等により、地域の魅力を高めます。

居住の誘導

子育て世代等の転入や地域文化の継承を促す居住環境の形成

◆市街化区域において、顕著な人口密度の低下が見込まれている栗橋駅周辺や菖蒲町菖蒲周辺を中心としつつ、各拠点周辺へ緩やかに居住を誘導します。
◆公共交通でアクセスしやすいエリアにおいて、保育園等の子育て支援施設の立地誘導を図るとともに、スポーツが出来る公園や緑地等の整備を推進することにより、子育て世代が快適に暮らせるみどり豊かな居住環境を形成します。
◆将来にわたる生活利便性の維持・充実を図るとともに、久喜提燈祭りなどの地域文化を継承する担い手を確保するため、低未利用地を活用した交流の場を創出し、豊かなコミュニティを育む居住環境を形成します。

公共交通の充実

拠点を結ぶ誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの維持・充実

◆自家用車に頼らず、多くの都市機能へ容易にアクセスが出来るように、都市機能や居住の誘導を図る拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの維持・充実を目指します。
◆子どもから高齢者まで、誰もが利用しやすい公共交通環境を整備します。

防　災

水害等のリスクとの共存を目指した防災・減災対策の推進

◆深い浸水等が想定されているエリアでは、市外などへの広域避難を基本としつつ、長距離移動が困難となる高齢者の増加等を見据え、水害等による被害を軽減する土地・建物の工夫を促進し、安全な居住環境を形成します。

※防災指針（災害リスク分析）の検討を踏まえ、方針を追加予定

パネル5（アンケート①）



パネル6（アンケート②）



(7)開催の様子

＜イトーヨーカドー久喜店＞





＜モラージュ菖蒲＞





＜イオンスタイル南栗橋＞



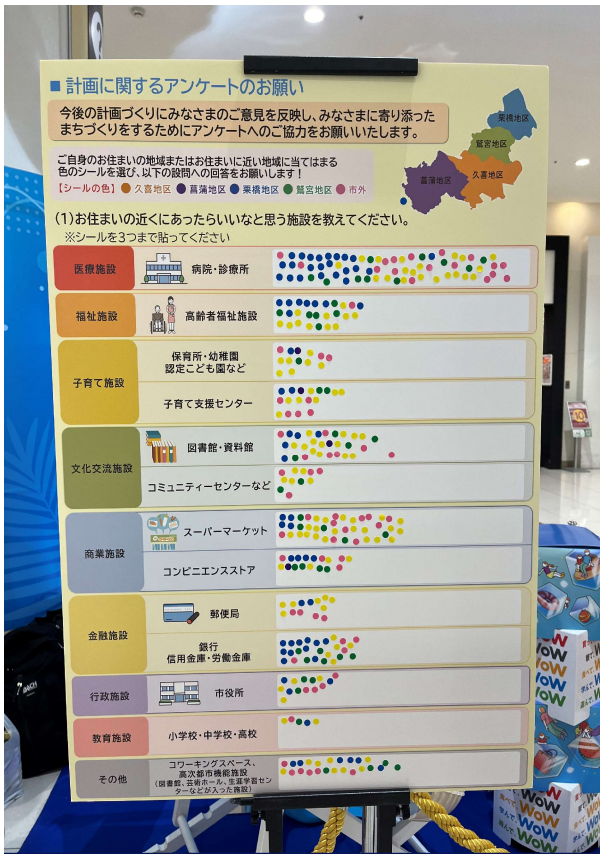


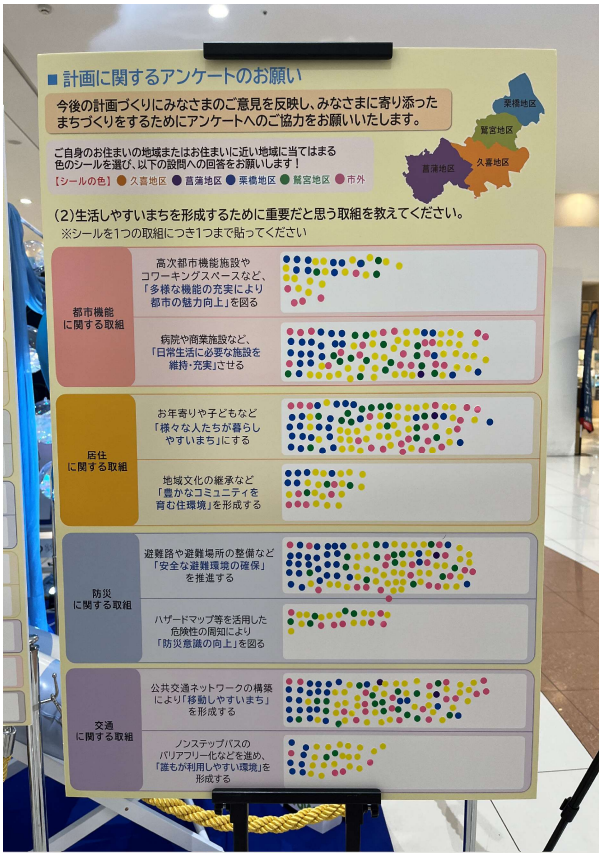
＜アリオ鷲宮＞





＜アンケート結果＞





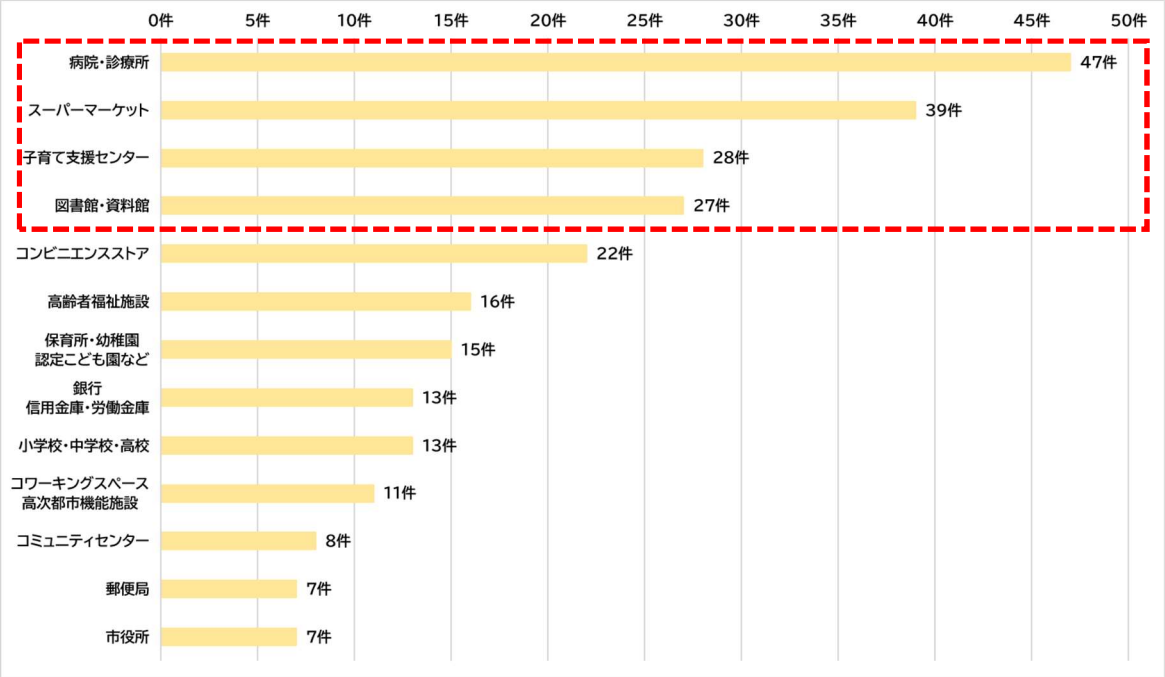
2.アンケート集計結果

問 1. お住まいの近くにあったらいいなと思う施設を教えてください。

◆久喜地区

<分析>

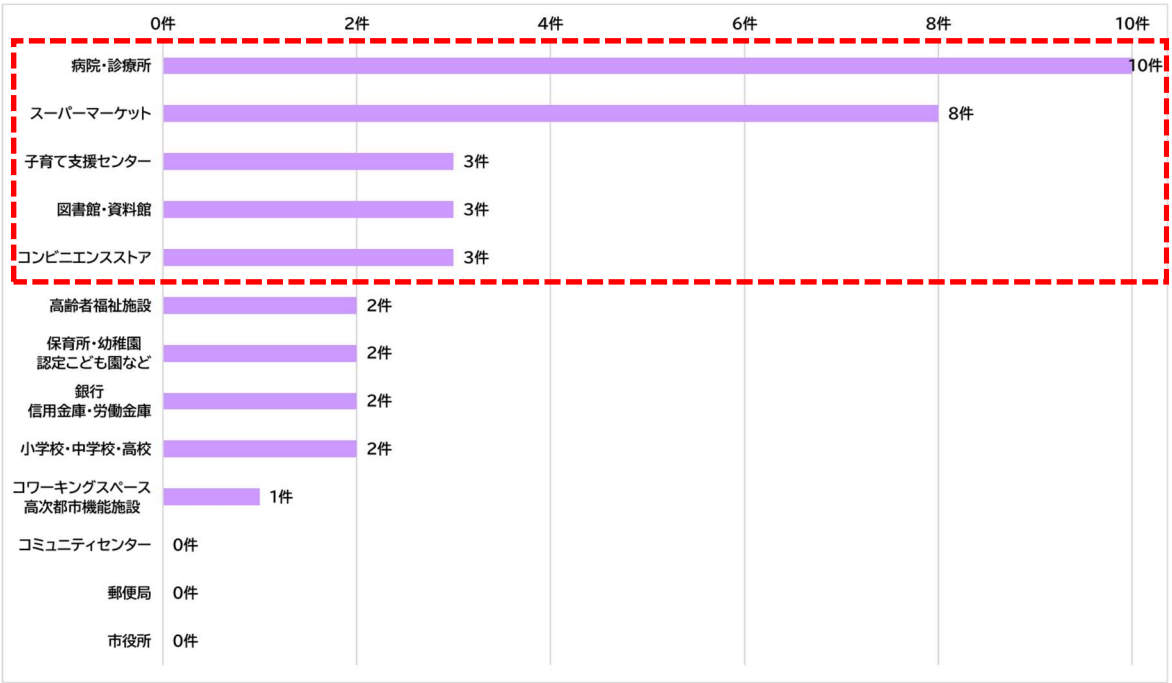
・久喜地区では病院・診療所が最も多く47件、次いでスーパーマーケットが39件、子育て支援センターが28件、図書館・資料館が27件であった。



◆菖蒲地区

<分析>

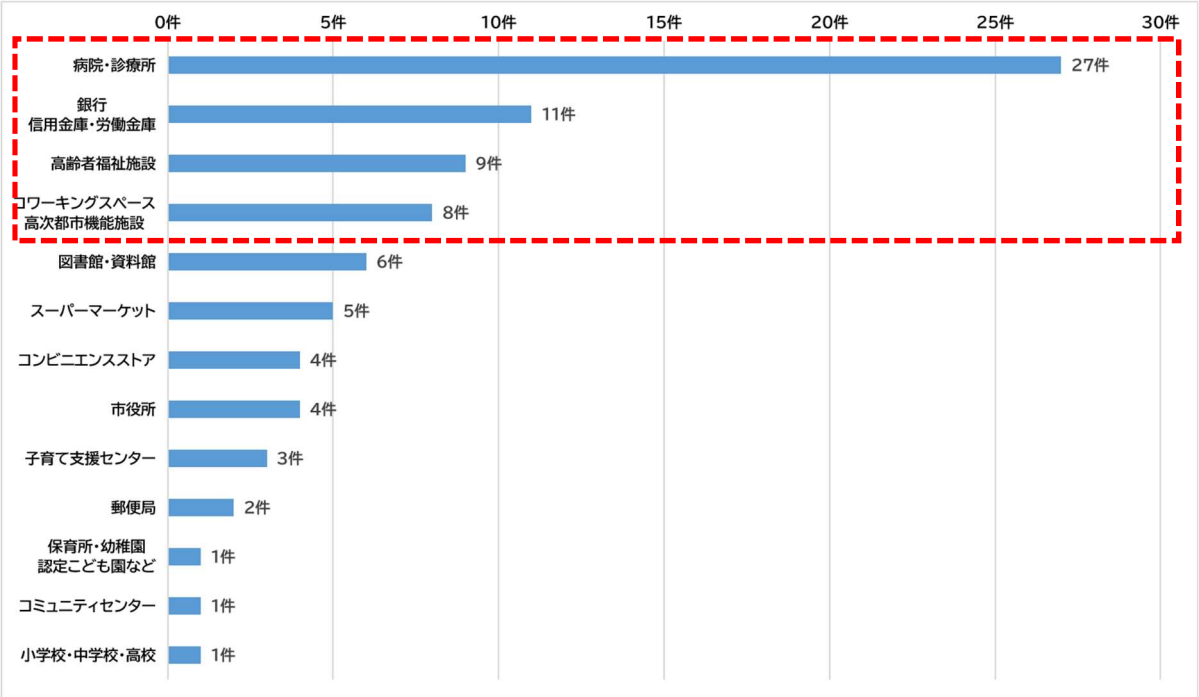
・菖蒲地区では、病院・診療所が最も多く10件、次いでスーパーマーケットが8件、子育て支援センター、図書館・資料館、コンビニエンスストアが3件であった。



◆栗橋地区

＜分析＞

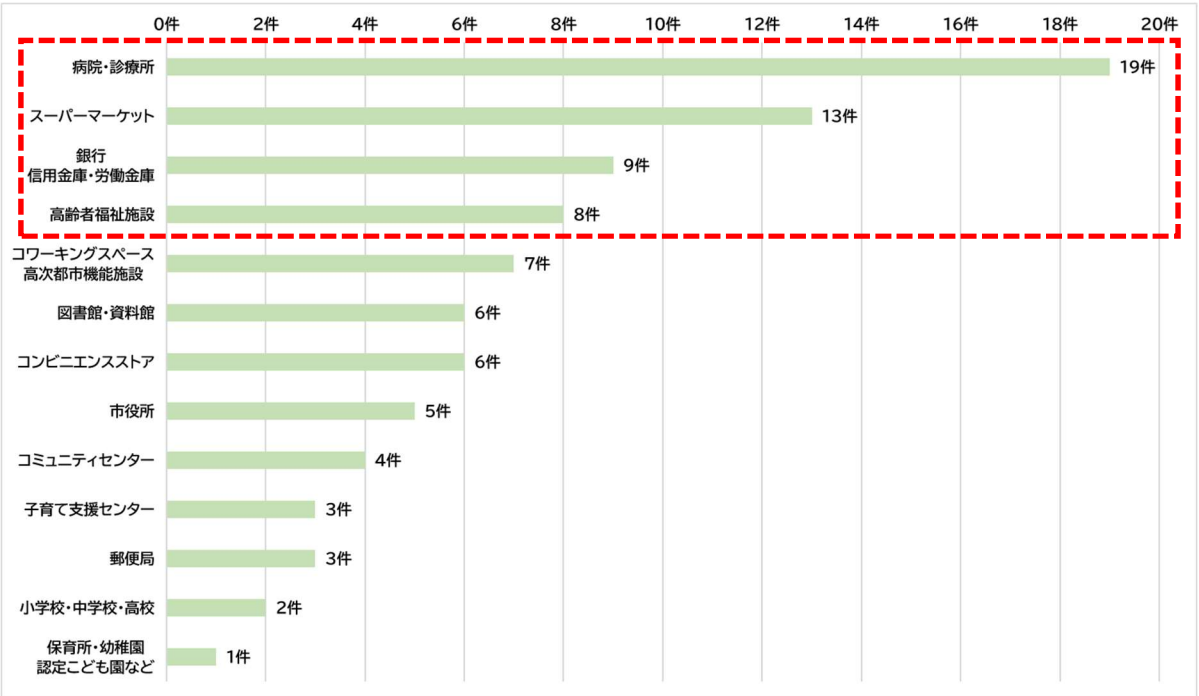
・栗橋地区では、病院・診療所が最も多く27件、次いで銀行・信用金庫・労働金庫が11件、高齢者福祉施設が9件、コワーキングスペース・高次都市機能施設が8件であった。



◆鷲宮地区

＜分析＞

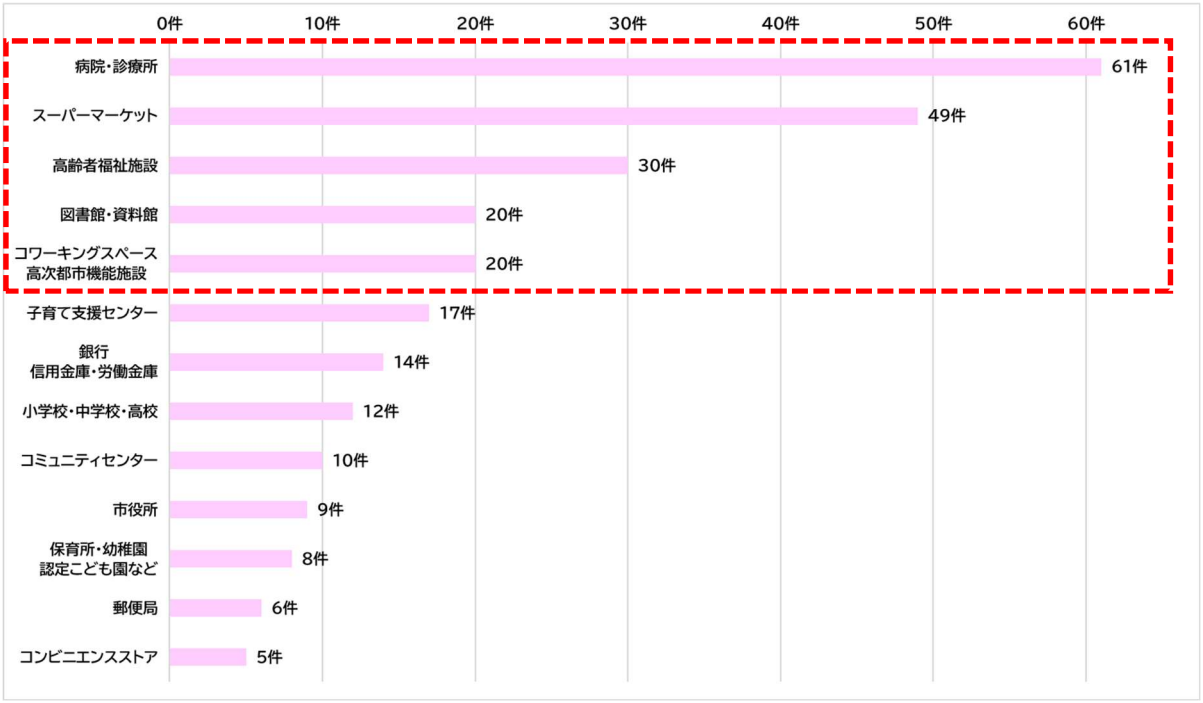
・鷲宮地区では、病院・診療所が最も多く19件、次いでスーパーマーケットが13件、銀行・信用金庫・労働金庫が9件、高齢者福祉施設が8件であった。



◆市外

＜分析＞

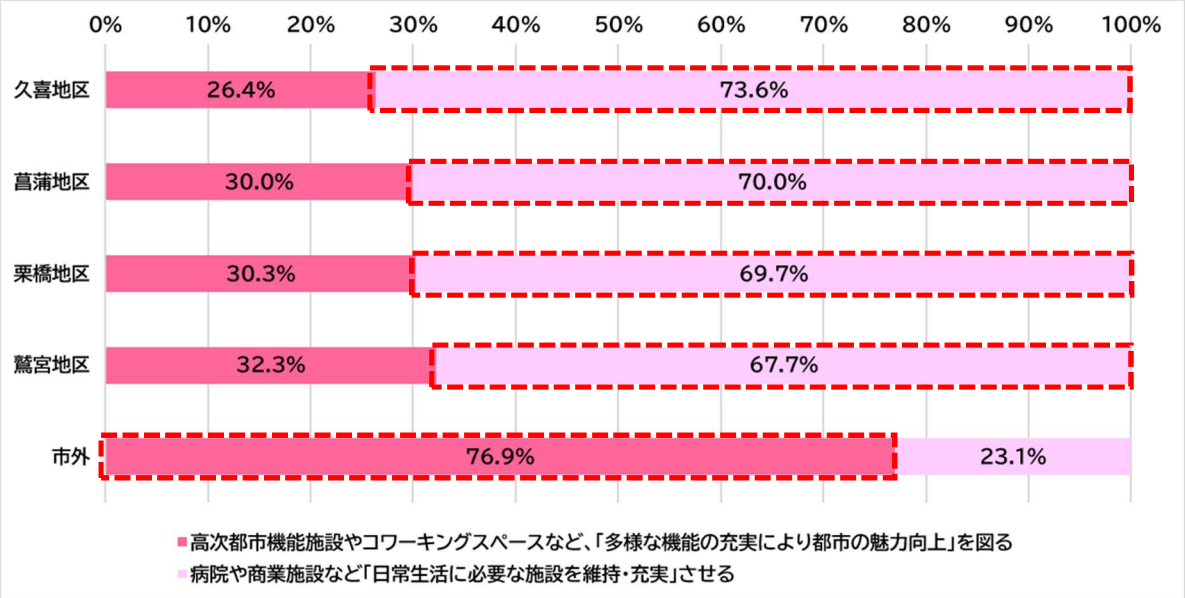
・市外では、病院・診療所が最も多く61件、次いでスーパーマーケットが49件、高齢者福祉施設が30件、図書館・資料館、コワーキングスペース・高次都市機能施設が20件であった。



問 2-1. 生活しやすいまちを形成するために重要だと思う**都市機能**に関する取組を教えてください。

<分析>

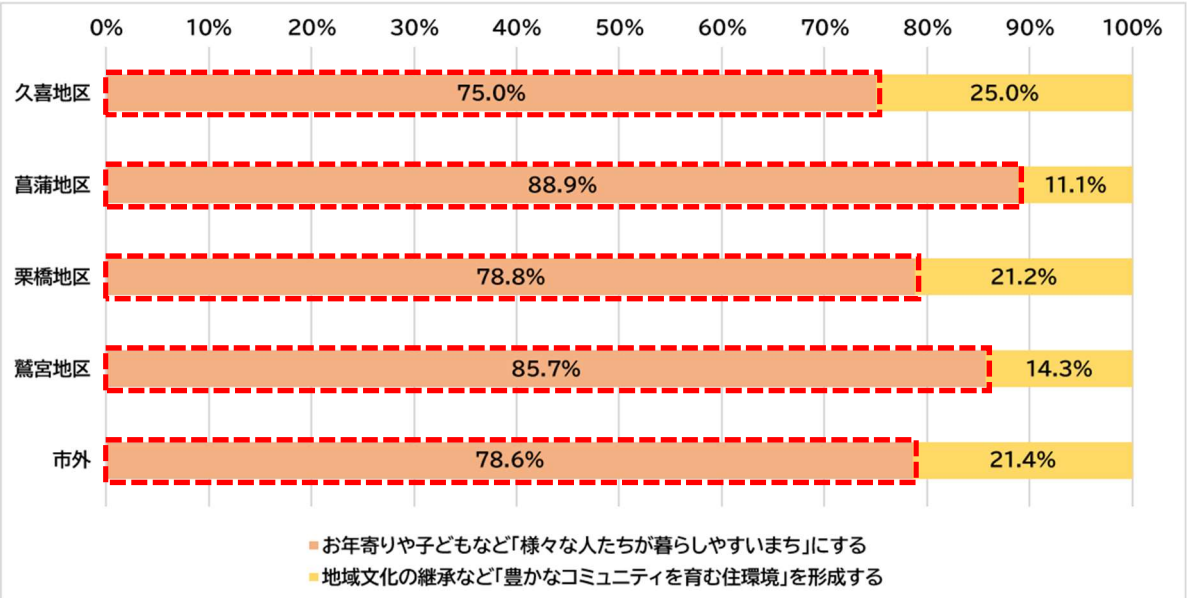
・久喜地区・菖蒲地区・栗橋地区・鷲宮地区では、約7割が『病院や商業施設など「日常生活に必要な施設を維持・充実」させる』を挙げている。一方で、市外では、約8割が『高次都市機能施設やコワーキングスペースなど、「多様な機能の充実により都市の魅力向上」を図る』を挙げている。



問 2-2. 生活しやすいまちを形成するために重要だと思う**居住**に関する取組を教えてください。

<分析>

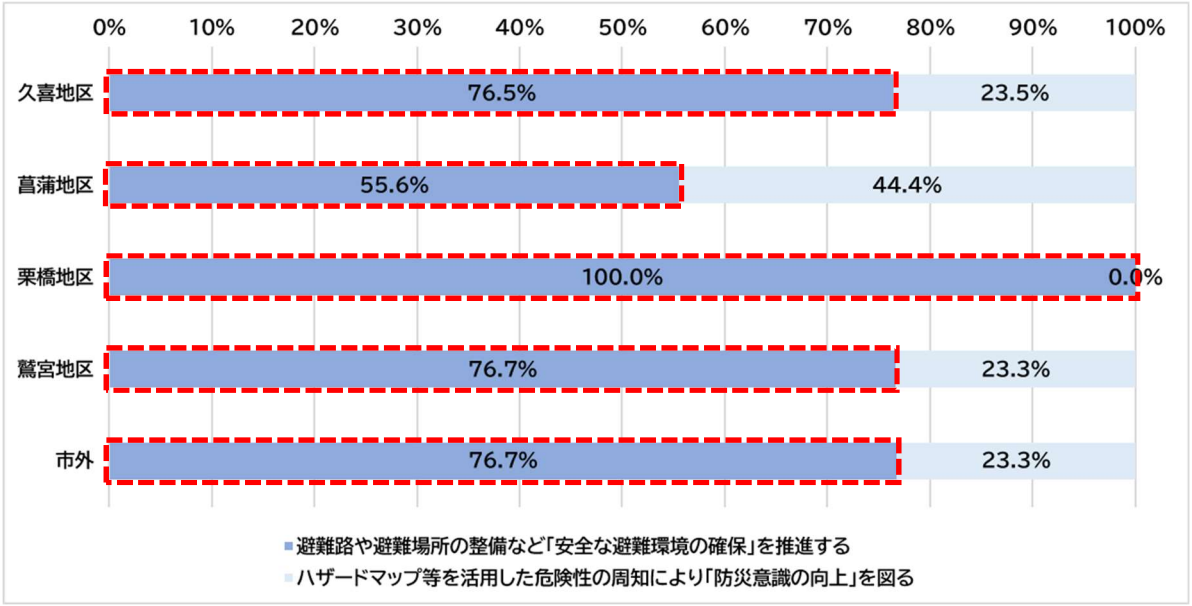
・菖蒲地区・鷲宮地区では約9割、久喜地区・栗橋地区・市外では約8割が『お年寄りや子どもなど「様々な人たちが暮らしやすいまち」にする』を挙げている。



問 2-3. 生活しやすいまちを形成するために重要だと思う**防災**に関する取組を教えてください。

<分析>

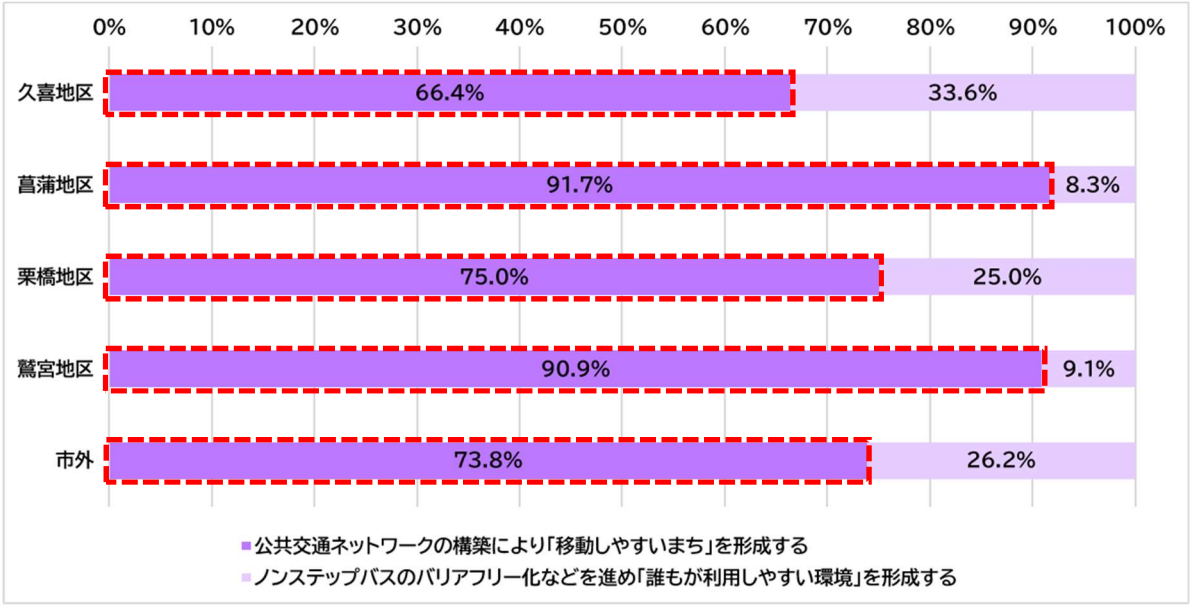
・栗橋地区では10割、久喜地区・鷲宮地区・市外では約8割、菖蒲地区では約6割が『避難路や避難場所の整備など「安全な避難環境の確保」を推進する』を挙げている。



問 2-4. 生活しやすいまちを形成するために重要だと思う**交通**に関する取組を教えてください。

<分析>

・菖蒲地区・鷲宮地区では約9割、栗橋地区では約8割、久喜地区・市外では約7割が『公共交通ネットワークの構築により「移動しやすいまち」を形成する』を挙げている。



＜ 参考 自由意見 ＞

◇都市機能に関すること

・加須市に大きな病院が移転してしまったため、類似の施設を誘導して欲しい。
・おいしい飲食店が増えるようになって欲しい。
・栗橋地区では、銀行窓口が無くなってしまい不便。
・久喜図書館は充実していると感じるため、活かして欲しい。
・税収を増やすアプローチを検討して欲しい。

◇居住に関すること

・久喜市は人口減少対策などしっかり考えていて良い。
・空き家問題も大事だと思う。
・農業振興地域では一定の規制がかかっている一方、周辺都市では規制が比較的緩い地域が発展している事例がある。規制が緩いことが必ずしも望ましいわけではないが、今後のあり方について検討する必要があると思う。

◇防災に関すること

・水害の危険性の周知は十分にされていると思う。川幅を広げるなど、ハード整備に力を入れて欲しい。
・避難所まで遠い地域がある。また、避難所で手話や杖が使えるようにする対応も検討して欲しい。
・小学校が避難所に指定されているが、老朽化しているところもあり不安。

◇交通に関すること

・幸手～久喜、栗橋～南栗橋など、バスが便利になれば駅から遠くても人が住むと思う。
・鷲宮はバスが少ないため、循環バスを増やして欲しい。
・循環バスは目的地まで行くまでに時間がかかる。予約して必要な箇所だけ行く形態のものの方が便利。
・狭い歩道を拡幅して欲しい。

◇その他

・防犯カメラを公共で設置して欲しい。
・学生が働きたいと思う産業をつくるべきである。IC 周辺の物流機能に偏るのではなく、産業構成のバランスを図ることが重要である。従来のベットタウンだけではなく、産業の視点も加味して考える必要がある。
・総体的な利便性の課題については、東京など首都圏全体との比較の中で捉える必要がある。特に、鉄道の利便性が最も重要な要素である一方、高速道路は便利。便利であると感じる人々に選ばれるようなアピールをする必要がある。